



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月13日

上場会社名 GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3788 URL <https://www.gmogshd.com/>
代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 青山 満
問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 池谷 進（TEL）03-6415-6100
半期報告書提出予定日 2026年8月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	11,091	11.5	585	△1.5	632	9.4	490	18.6
2025年12月期中間期	9,944	4.0	593	△20.2	577	△28.7	413	△18.5

（注）包括利益 2026年12月期中間期 694百万円（222.0%） 2025年12月期中間期 215百万円（△80.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	42.75	—
2025年12月期中間期	36.02	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	19,540	10,364	52.9
2025年12月期	18,963	10,350	54.5

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 10,337百万円 2025年12月期 10,328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	0.00	0.00	0.00	56.91	56.91
2026年12月期	0.00	0.00			
2026年12月期（予想）			0.00	59.67	59.67

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,286	7.8	1,622	10.0	1,589	10.7	1,052	4.7	91.79

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) GMO AI コネクト株式会 社、除外 一社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期中間期	11,693,000株	2025年12月期	11,693,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	223,258株	2025年12月期	211,358株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年12月期中間期	11,471,356株	2025年12月期中間期	11,481,642株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当中間期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社連結企業群は、「信頼を設計し、世界をつなぐ。」という長期ビジョンのもと、インターネットサービス市場において、電子認証や電子契約を中心とした認証技術を活用し、セキュリティサービスをグローバルに提供する「電子認証・印鑑事業」、30年を超える運用実績とノウハウを生かしたレンタルサーバー（ホスティング）サービスおよびマネージドクラウドサービスを提供する「クラウドインフラ事業」、そしてDX化による業務効率化・高付加価値化を実現し、様々な課題解決を支援する「DX事業」を展開しております。これらの事業を通じ、利便性と安心・信頼を兼ね備えたインターネットサービスを提供し、本格化するAIエージェント時代のセキュリティを守る「信頼のインフラ」として、多くの企業のインターネットビジネスを支えるべく事業を展開しております。

当中間連結会計期間においては、重点商材である電子契約サービス「電子印鑑GM0サイン」およびログイン認証強化サービス「GM0トラスト・ログイン」、またクラウドインフラ事業のマネージドクラウドサービス「CloudCREW byGM0」が前期に引き続き高成長を維持し、順調に売上を伸ばしてまいりました。一方、SSLサーバ証明書をはじめとする電子認証事業においては、売上を堅調に積み上げたものの、一部海外大口顧客（長期契約）の売上において期ずれが発生し、売上・利益面に影響を及ぼしました。

2026年4月に子会社化した、APIコネクター付きMCP構築プラットフォームを展開するGM0 AIコネクト株式会社については、2026年6月末をみなし取得日として貸借対照表を連結しており、損益計算書につきましては2026年7月より連結の範囲に含めることとしております。当社連結企業群は、同社のデータ連携基盤と既存サービスとの接続を推進し、AIエージェント時代に対応した次世代型の企業向けサービスへの進化を加速してまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は11,091,203千円（前年同期比11.5%増）、営業利益は585,093千円（同1.5%減）、経常利益は632,137千円（同9.4%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は490,380千円（同18.6%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

（電子認証・印鑑事業）

電子認証・印鑑事業においては、電子契約サービス「電子印鑑GM0サイン」（以下、「GM0サイン」）およびログイン認証強化サービス「GM0トラスト・ログイン」を重点商材として位置づけ、人材投資およびマーケティング活動の強化による認知度向上を図ることで、中長期的な事業拡大に取り組んでおります。

この結果、当中間連結会計期間においては、「GM0サイン」が高成長を継続し、前期比で増収増益となり、連携アプリ数No.1の国内IDaaSソリューションであるログイン認証強化サービス「GM0トラスト・ログイン」においても、社会的なセキュリティ意識の高まりを背景に、大口顧客の獲得が続いており、引き続き好調に事業を拡大いたしました。

電子認証事業においては、グローバルでの売上は堅調に推移いたしました。しかしながら、海外の一部大口顧客（長期契約）の売上において期ずれが発生、また費用削減やサービス向上のためのシステム開発コストが一時的に増加したことが、売上・利益の押し下げ要因となりました。期ずれ分の売上につきましては、主に第4四半期での計上を見込んでいるほか、一部サービスの価格適正化や新規大口顧客の獲得も順調に進んでおります。

以上の結果、当中間連結会計期間における電子認証・印鑑事業は、売上高は6,937,582千円（前年同期比10.1%増）、セグメント利益は428,232千円（同19.9%減）となりました。

（クラウドインフラ事業）

クラウドインフラ事業においては、お客さまの幅広い用途に対応するクラウド・レンタルサーバー（ホスティング）サービスのほか、クラウドの導入支援、設計・構築、監視・運用などを代行するマネージドクラウドサービス「CloudCREW byGM0」（以下、「CloudCREW」）を提供しております。

当中間連結会計期間においては、「CloudCREW」が前期に引き続き好調に業績を拡大しております。2026年7月1日には、アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社（以下、「AWS」）と、中堅・中小企業のクラウド導入支援に関する戦略的協業契約を締結いたしました。今後はAWSのグローバルな支援プログラムや共同投資リソースを最大限に活用し、一層の事業拡大を目指してまいります。

既存のレンタルサーバー（ホスティング）サービスにおいては、競争環境の激化の中でも売上は前期同等水準を維持しておりますが、更なる収益性の改善のため、高収益なクラウド商材への集約を進めてまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間におけるクラウドインフラ事業の売上高は3,917,491千円（前年同期比12.8%増）、セグメント利益は144,702千円（同34.9%増）となりました。

（DX事業）

DX事業においては、電子認証・印鑑事業とクラウドインフラ事業で培ったノウハウを生かし、DX化による業務効率化・高付加価値化を図ることで、企業の様々な課題解決を支援しております。

当中間連結会計期間においては、GM0デジタルラボ社が提供する、自治体や事業者が発行する紙の商品券をデジタル化するサービス「GM0デジタルPay（自治体向けパッケージ『モバイル商品券プラットフォームbyGM0』を含む）」が、政府による物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の対象事業となることから、好調に受注を獲得し、売上および利益が拡大いたしました。一方、AIメーター点検サービス「haku.ai byGM0」では営業投資を縮小し、今後は人的資源をAIエージェント関連サービスに集中してまいります。なお、GM0デジタルラボ株式会社は、全株式譲渡に伴い、第3四半期連結会計期間より当社の連結の範囲から除外しております。

以上の結果、当中間連結会計期間におけるDX事業の売上高は532,156千円（前年同期比20.1%増）、セグメント損失は4,395千円（前年同期は58,966千円のセグメント損失）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（流動資産）

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、12,864,428千円となり、前連結会計年度末に比べ37,504千円減少しております。主な増減要因は、現金及び預金の増加332,752千円、売掛金及び契約資産の減少320,837千円、前払費用の増加54,209千円、貸倒引当金の減少32,317千円、「その他」に含まれる「預け金」の減少104,500千円であります。

（固定資産）

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、6,675,966千円となり、前連結会計年度末に比べ614,734千円増加しております。主な増減要因は、工具器具備品（純額）の増加60,807千円、のれんの増加330,698千円、ソフトウェアの増加145,856千円、投資有価証券の増加51,418千円、長期前払費用の減少20,286千円であります。

（流動負債）

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、6,604,304千円となり、前連結会計年度末に比べ507,942千円増加しております。主な増減要因は、１年内返済予定の長期借入金の増加105,000千円、未払金の減少107,217千円、未払費用の増加104,448千円、契約負債の増加388,098千円であります。

（固定負債）

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、2,571,311千円となり、前連結会計年度末に比べ54,987千円増加しております。主な増減要因は、長期借入金の増加115,000千円、繰延税金負債の減少34,603千円、リース債務の減少29,958千円であります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、10,364,778千円となり、前連結会計年度末に比べ14,299千円増加しております。主な増減要因は、親会社株主に帰属する中間純利益490,380千円及び支払配当金653,420千円を計上したこと等による利益剰余金の減少163,040千円、非支配株主持分の増加5,200千円、その他有価証券評価差額金の増加7,169千円、為替換算調整勘定の増加191,630千円であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、2026年２月10日付け公表の「2025年12月期決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,936,653	9,269,405
売掛金及び契約資産	2,894,873	2,574,036
前払費用	811,761	865,971
その他	423,977	288,030
貸倒引当金	△165,332	△133,015
流動資産合計	12,901,932	12,864,428
固定資産		
有形固定資産		
建物	150,715	150,818
減価償却累計額	△98,607	△100,819
建物(純額)	52,108	49,998
車両運搬具	3,921	3,921
減価償却累計額	△3,921	△3,921
車両運搬具(純額)	-	-
工具、器具及び備品	2,884,245	3,062,885
減価償却累計額	△2,317,529	△2,435,361
工具、器具及び備品(純額)	566,715	627,523
リース資産	542,674	529,031
減価償却累計額	△256,959	△263,642
リース資産(純額)	285,714	265,388
有形固定資産合計	904,538	942,910
無形固定資産		
のれん	751	331,450
ソフトウェア	4,275,340	4,421,196
その他	61,126	54,359
無形固定資産合計	4,337,218	4,807,006
投資その他の資産		
投資有価証券	306,636	358,055
関係会社株式	130,250	130,250
長期前払費用	122,221	101,935
繰延税金資産	80,458	140,986
その他	179,908	194,820
投資その他の資産合計	819,475	926,049
固定資産合計	6,061,232	6,675,966
資産合計	18,963,165	19,540,394

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	49,727	63,334
1年内返済予定の長期借入金	890,000	995,000
未払金	741,968	634,751
未払費用	661,434	765,883
契約負債	2,922,616	3,310,715
リース債務	116,414	117,755
未払法人税等	320,682	294,653
未払消費税等	175,154	129,598
賞与引当金	104,646	116,762
その他	113,718	175,849
流動負債合計	6,096,362	6,604,304
固定負債		
長期借入金	1,462,500	1,577,500
リース債務	226,553	196,595
繰延税金負債	714,681	680,077
その他	112,589	117,138
固定負債合計	2,516,324	2,571,311
負債合計	8,612,686	9,175,616
純資産の部		
株主資本		
資本金	916,900	916,900
利益剰余金	7,573,686	7,410,646
自己株式	△263,331	△289,992
株主資本合計	8,227,255	8,037,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,999	75,169
為替換算調整勘定	2,032,831	2,224,461
その他の包括利益累計額合計	2,100,831	2,299,630
非支配株主持分	22,392	27,593
純資産合計	10,350,478	10,364,778
負債純資産合計	18,963,165	19,540,394

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	9,944,650	11,091,203
売上原価	4,073,698	4,786,930
売上総利益	5,870,951	6,304,272
販売費及び一般管理費	5,276,951	5,719,179
営業利益	593,999	585,093
営業外収益		
受取利息	24,058	31,627
受取配当金	23,257	10,202
投資事業組合運用益	1,163	15,467
その他	26,317	11,339
営業外収益合計	74,796	68,635
営業外費用		
支払利息	15,752	21,145
投資事業組合運用損	9,500	-
為替差損	64,552	-
その他	1,084	445
営業外費用合計	90,890	21,591
経常利益	577,905	632,137
特別損失		
事業構造改善費用	-	17,966
特別損失合計	-	17,966
税金等調整前中間純利益	577,905	614,171
法人税、住民税及び事業税	217,211	233,856
法人税等調整額	△55,003	△113,709
法人税等合計	162,208	120,147
中間純利益	415,697	494,023
非支配株主に帰属する中間純利益	2,149	3,643
親会社株主に帰属する中間純利益	413,547	490,380

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	415,697	494,023
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,660	7,169
為替換算調整勘定	△202,759	193,113
その他の包括利益合計	△200,099	200,282
中間包括利益	215,597	694,306
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	215,306	689,179
非支配株主に係る中間包括利益	291	5,126

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当中間連結会計期間より、GM0 AIコネクト株式会社の株式を新たに取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書関係)

事業構造改善費用

前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

該当事項はありません

当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

事業構造改善費用は、海外子会社におけるプロジェクトの見直しに伴う収益性改善施策の一環として、対象者に支給した特別退職金であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子認証・印 鑑事業	クラウドイ ンフラ事業	DX事業			
売上高						
外部顧客への売上高	6,215,399	3,306,472	422,778	9,944,650	—	9,944,650
セグメント間の内部 売上高又は振替高	86,237	167,592	20,411	274,241	△274,241	—
計	6,301,636	3,474,065	443,189	10,218,891	△274,241	9,944,650
セグメント利益又は損失 (△)	534,548	107,283	△58,966	582,865	11,134	593,999

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額11,134千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子認証・印 鑑事業	クラウドイ ンフラ事業	DX事業			
売上高						
外部顧客への売上高	6,848,754	3,734,618	507,830	11,091,203	—	11,091,203
セグメント間の内部 売上高又は振替高	88,827	182,873	24,325	296,026	△296,026	—
計	6,937,582	3,917,491	532,156	11,387,230	△296,026	11,091,203
セグメント利益又は損失 (△)	428,232	144,702	△4,395	568,539	16,553	585,093

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額16,553千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2026年4月20日開催の取締役会において、株式会社ストラテジットの株式を取得し、子会社化することについて決議し、2026年4月30日付で同社の株式を取得し同社を連結子会社といたしました。

その後、同社の株式を2026年5月15日に追加取得し、当中間連結会計期間末における議決権比率は97.24%となっています。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社ストラテジット

事業の内容：JOINTシリーズの企画・開発・運営・販売、SaaS導入コンサルティング、ERP導入の支援

(2) 企業結合を行った主な理由：

被取得企業は、多様な業務システムを横断的に連携させるデータ連携プラットフォーム「JOINT」を開発・提供しております。同社を連結子会社に迎えることで、当社グループのAIを活用した生産性向上への取り組み、グループ技術を横断活用した機能実装やサービス強化等によるシナジー創出、および中長期的な企業価値向上が期待できることから、本企业結合を実施いたしました。

(3) 企業結合日：

株式取得日：2026年4月30日（みなし取得日：2026年6月30日）

(4) 企業結合の法的形式：現金等を対価とする株式取得および第三者割当増資の引受け

(5) 結合後企業の名称：GM0 AIコネクト株式会社

(6) 取得した議決権比率：

企業結合直前に保有していた議決権比率：0%

2026年4月30日：96.44%

2026年5月15日：0.8%（第三者割当増資の引受け）

追加取得後の議決権比率：97.24%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠：当社が現金を対価として株式を取得したためであります。

2. 中間連結財務諸表に含まれる被取得企業の業績の期間

みなし取得日を2026年6月30日としているため、当中間連結会計期間の中間連結損益計算書には、被取得企業の業績は含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	563,977千円
取得原価		563,977千円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

業務委託費用等その他関連費用 1,113千円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん：331,198千円

なお、のれんは、当中間連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(2) 発生原因：今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

(3) 償却方法及び償却期間：8年間の均等償却

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳項目金額

(注) 中間連結財務諸表の作成にあたっては、みなし取得日を2026年6月30日としているため、同日時点の金額を記載しております。

流動資産	190,536千円
固定資産	120,843千円
資産合計	311,380千円
流動負債	71,994千円
固定負債	-千円
負債合計	71,994千円

7. 取得原価の配分

中間連結会計期間末において、企業結合日における識別可能な資産及び負債の特定並びに時価の算定が未了であり、取得原価の配分が完了していないため、その時点で入手可能な合理的情報に基づき暫定的な会計処理を行っております。

(重要な後発事象)

(子会社株式の譲渡)

当社は、2026年6月15日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるGM0デジタルラボ株式会社の当社保有株式の全てをGM0コマース株式会社へ譲渡することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

1. 株式譲渡の理由：当社グループ内の事業再編および経営資源の集中

2. 譲渡先の名称：GM0コマース株式会社（当社の兄弟会社であり、関連当事者に該当いたします。）

3. 株式譲渡実行日：2026年7月1日

4. 株式の数、譲渡価額および譲渡損益：

(1) 譲渡株式数：600株（議決権所有割合 100%）

(2) 譲渡価額：724,807千円

(3) 譲渡損益：2026年第3四半期連結会計期間において特別利益を440,476千円を計上する見込みです。

なお、本株式譲渡契約には、対象会社の将来の業績等に応じて追加対価を受領する条件付取得対価（アーンアウト条項）が含まれており、上記の譲渡価額および譲渡損益に含めております。